

乳房補正具補助は

国や県の動向をみて検討

質問 本市のがんの相談体制は、
本市のがんの相談体制は、
本市のがんの相談体制は、

質問 相談はいつも受付けている。二又診療所にはがんに特
二又診療所を本市のがん相談

化した相談窓口「ヒロピス」もある。
質問 「ヒロピス」のある
二又診療所を本市のがん相談



窓口として位置づけることはどうか。
質問 今後、ヒロピスのある二又診療所の体制を考慮受け入れ人数などを検討課題とする。

質問 がん患者医療用補正具購入費助成事業で医療用ウィッグへの助成をしているが、令和4年度実績が4件だったことをどう考えるか。
質問 現在は、がん治療を行う医療機関への周知と本ホームページでの広報だが、まだ浸透していないと考える。今後は多くの人の目に触れるように、検診会場などでもチラシを配布していく。

質問 乳房補正具への補助
質問 同センターの今後の事業規模・予算に関する考えと市役所業務への導入をどう考えるか。
質問 企業との連携等により、30人以上の就労を実現するなど、成果を挙げており、必要な事業と認識している。人口に基づいた補助基準で国庫補助を受けており、今後も

包括業務委託は

質問 今年度が包括業務委託契約の最終年度だが、その後はどうか。
質問 現在は行っていない。今後、国や県の動向、第4期がん対策推進基本計画にアピランスケア(外見支援)がどのように反映されるかによって検討していく。

質問 今年度の児童数と入学生は何人か。
質問 市内の入学生は105名で、現在629名の児童が在籍している。10年前と比較すると304名の減で、33.6%の減少となっている。

質問 複式学級の増加と学校の小規模化が進行する現状で、小学校の再編をどう考えるか。
質問 小学校の在り方について、再編も選択肢の一つに入れながら、改めて議論する時期にある。単に児童の割合の議論でなく、保護者や地域の人たちの意見を聞き、方向性を定める協議を丁寧に進めたい。



医療等ウィッグ



大和田 加代子
(碧い風)

ユニバーサル就労支援の今後

同規模予算で事業維持

質問 ユニバーサル就労支援センターの支援のニーズはどうか。
質問 令和2年度の相談件
数が32件、令和3年度が35件、令和4年度が22件となっており、働きづらさを抱える方のニーズは高いと見ている。



市内林業事業者の状況と木材価格乱高下の対応は。
質問 令和4年後半から木材需要が停滞し、原木価格が下落している。伐採した原木が市場で滞留するなどの影響が出ている。
乱高下発生時点での市単独での対応には限度がある。国では、輸入材の供給リスクが



市内林業事業者の状況は



佐々木 良麻
(とうほく未来創生)

同規模の予算で継続していきたい。
市役所業務については、すでに多種の業務委託を進めており、ユニバーサル就労への新たな業務切り出しは困難であると考えている。
質問 木材価格の下落
ウッドショック後の

と、様々な問題が発生する。解体費用の補助制度などを考えるべきと思うがどうか。
質問 本年度中に「空き家等対策計画」を策定し、危険空き家の除却等が円滑に行われるようにしたい。
質問 市長公約への影響は。
質問 林業・木材産業において厳しい時期を迎えてお

り、公約に少なからず影響があると認識している。国、県の補助金を活用しながら、木材の安定供給体制の強化と新規就業者の確保・育成に取り組む。

ホテルの開業時期は

令和7年5月で変更なし

質問 ホテル建設が決定して半年が経過した。市としての要望と取り組みはどうか。
質問 施設計画の変更等がない。
協議調整を行う。



質問 資材の高騰などにより、工事の遅れが心配されるが、建設の見通しはどうか。
質問 建物竣工時期やオープン時期に変更はなく、令和7年5月のグランドオープンの予定である。

空き家対策について

質問 市内における空き家の件数と現状をどのように把握しているのか。
質問 現時点で800件ほどの空き家が存在していると推察する。今後も増加傾向にあることから、利活用を図るため、空き家バンク制度の周知とマッチングを推進して行く。

学校の適正規模化は

質問 今年度の児童数と入学生は何人か。
質問 市内の入学生は105名で、現在629名の児童が在籍している。10年前と比較すると304名の減で、33.6%の減少となっている。



伊藤 明彦

質問 複式学級の増加と学校の小規模化が進行する現状で、小学校の再編をどう考えるか。
質問 小学校の在り方について、再編も選択肢の一つに入れながら、改めて議論する時期にある。単に児童の割合の議論でなく、保護者や地域の人たちの意見を聞き、方向性を定める協議を丁寧に進めたい。



ホテル建設予定地